

観光学研究科 博士後期課程 学位論文の評価基準

博士学位論文の評価にあたっては、研究倫理を遵守していることを前提に、博士学位論文審査及び最終試験（口頭試問）において、下記項目等を参考にして総合評価し、合否判定を行う。

審査の項目	DPとの紐づけ
テーマ	DP1
構成力	DP2
独自性	DP2
位置づけ	DP2
達成度	DP2
貢献度	DP1

観光学研究科博士後期課程 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

和歌山大学の目的及び使命並びに大学院博士後期課程の学位授与の方針に則り、観光学研究科博士後期課程の専門教育を通して、次の目標に到達していると認められる者に博士（観光学）の学位を授与する。

DP1	1. 高度な専門性とあわせて包括的な課題解決能力を身につけ、学際的な学問分野である観光学の確立・発展に貢献することができる。
DP2	2. 観光学に関する真摯な学修・研究活動を倫理観を有して行い、その成果をテーマ・構成力・独自性・位置づけ・達成度・貢献度の観点から高く評価される博士論文として結実させる能力を身につけている。